様式１

令和8年度　調布市立染地小学校　学校経営計画（学校長　八木橋　小百合）

学校の教育目標
あたたかく　たくましく　まえむきに　生きる子ども
目指す学校像(ビジョン）　例）学校像，教員像，児童・生徒像
○学校像　「家庭・地域と共に考え、協力しあえる学校」 ○教職員像「子どもから学ぶ力」「すべての子どもを見守る力」「できないことは人の力を活用する力」 ○児童像〈育てたい姿〉「自分も人も大切にする子ども」◎「自分で考えて行動する子ども」「自分からチャレンジする子ども」

ビジョンの設定理由 （本校の現状と課題）	小規模校の強みを生かし、一人一人の児童を丁寧にみていくシステム(チーム担任制)の構築と強化を目指すため。 教職員・児童・保護者・地域が協力する基盤が整ってきたので、更なる意識向上と協力体制の強化を目指すため。

中期的な経営目標
1　(知)学習活動や行事等に、自分で考えて参加する児童の育成に取り組む。
2　(徳)自分の気持ちを大切にして、相手の気持ちも考えて発言したり行動したりする児童の育成に取り組む。
3　(体)運動したり体を動かしたりすることを楽しむ児童の育成に取り組む。
人・組　低・中・高・たけのこの各チームの協力体制の下、一人一人の児童を多面的に支援する体制づくりを整える。

調布市立学校における共通した領域　＜短期的な経営目標＞		
1　豊かな心(徳)	**2　確かな学力(知)**	**3　健やかな体(体)**
(1)　取組目標（具体的方策）	(1)　取組目標（具体的方策）	(1)　取組目標（具体的方策）
①　あいさつ運動を通して、相手を意識してあいさつする児童を育てる。(通年)	①管理職による授業観察、教員同士の学びあい(月１回授業観察)を通して、授業力向上を図る。	①　ちょこプラ 1 や体力向上の取組等を通して、体を動かすことの楽しさを味わわせる。
②　「気持ちを話そうタイム」(６回)を通して、自分の気持ちに気付いたり友達の気持ちに気付いたりする。	②校内研究「学びを自ら調整する児童の育成」を図る授業を構築する。(研究授業全員)	②　栄養士による給食メモ、養護教諭による保健指導を通して、自分の健康についての意識を高める。
(2)　成果目標（数値目標）	(2)　成果目標（数値目標）	(2)　成果目標（数値目標）
①　相手を意識して挨拶する肯定的評価９０％	①　学習内容の理解に関する肯定的評価 90%	①　体を動かすことの肯定的評価８５％
②　自分の気持ちに気付くことができた肯定的評価 80%	②　学ぶことが楽しい肯定的評価 80%	②　食育・健康に関する肯定的評価 90%
学校の特色を生かした領域　＜短期的な経営目標＞		
4　特別支援教育の充実	**5　保護者・地域の教育力の活用**	**6**
(1)　取組目標（具体的方策）	(1)　取組目標（具体的方策）	(1)　取組目標（具体的方策）
①　異学年交流・特別支援学級との交流の中でお互いの名前を一人以上覚える。	①　CS を中心として関係団体と連携し、教育活動の充実を図る。	①
②　必要に応じて、合理的配慮委員会を開き、個別の支援の充実を図る。	②	②
(2)　成果目標（数値目標）	(2)　成果目標（数値目標）	(2)　成果目標（数値目標）
①　友達の名前を覚えて交流した肯定的評価 80%	①　CS の活動の周知と活動に対する肯定的評価８０％	①
②　困った時に相談できる肯定的評価８０％	②	②

人材育成・組織運営
○授業力の向上 ・月１回教員同士の授業観察と感想シェアシステムの構築　・校内研究の充実　・ミニ研修(年間１０回以上) ○チーム担任制の充実 ・週一回のチーム会の実施　・チームで若手教員の育成　・計画年休の取得 ・チームでの業務分担や効率化、会議・業務等の整理削減、ICT の活用。 ○服務規律の徹底 ・定期的な研修と服務ニュースを通しての校長講話の実施により、自分事としてとらえられる教職員の育成を目指す。 ○働き方改革 ・自分の働き方を見直す情報を提供したり、個別の状況に細やかに対応したりしていく。